



1912年(大正元年)十月九日出發二十五日帰京
第三回 札幌傳道

大村十鑑三、宮部金吾、黒岩四方、道、
其他各地代表 森本慶三(岡山)、津山海保、竹野、
松(千葉)、青木義雄(石木)、木村允(新潟)、淺見、
猶三郎(東京)、山岸五(東京)、中田信藏(東京)、佐藤、
藏(宮城)、衛藤宗次郎(岩手)、小田代九人(花巻)、
淺見仙作、藤原次郎、市川春松、佐藤嘉平治、
並に竹山新報社、独立教会、白岩、森本、原吉、三島常、
以下四十餘名 (寫真)

各自の寢室に入る。
し、將來の傳道に付き先生と共々語り祈り、
光を浴び、今回札幌傳道と追習、感謝
一、歸途津軽海峡渡船、皆連絡船甲板、
鮮魚、試食等

一、石狩川鮭漁、實地見物、並に石狩川、
一、大森、子辰、農場見学、
協同室、吉野、
傳道、は、就、
教會、と、教、友、會、
一、札幌、獨立、基督、
教、會、員、

一、札幌本會、吉野宅、
一、市内、講演、會、
一、早天、祈禱、會、
於、是、歡迎、團、遊、會、
一、札幌、一、氏、邸、内、

一、内村先生の教團より羅馬書講演、
此期間に於て

經過の梗概